

中部地区の社会教育をつなぐ、ひろげる

わくわく中部

中部教育局社会教育担当だより平成29年3月28日発行



平成28年度社会教育主事講習(B)が終了しました

平成29年1月18日(水)から2月23日(木)までの37日間にわたる社会教育主事講習が無事、終了しました。東京を主会場に全国10会場、総勢260名が受講しました。「修了はあっても、卒業はない」これは、閉講式の挨拶の中で国研センター長が言われた言葉です。私たちが身に付けた力を地域、あるいは職場で発揮し、社会の要望に応じていきます。



鳥取の
受講生は
20人!



講習の流れ～社会教育主事に求められる力を身に付けるために～

18日間は集中講義!!

- 生涯学習とは
- 社会教育とは
- 社会教育行政の意義と役割とは
- 社会教育主事の職務と社会教育指導者の役割
- 学習成果の評価と活用について
- 社会教育施設の経営の実際 等



チームで事業立案!!

- 現状分析①(自治体の概要)
- 現状分析②(社会教育の現状と課題)
- 社会教育計画策定
- 中・長期計画
- 年間事業計画
 - ・目標・内容
 - ・形態・方法 等



最終日は事業のプレゼン!!



ちょっと一息
心も体もほぐす!



第6回全国公民館報コンクール やしろ公民館報受賞

同コンクールは、2年に1回開催され、全国における公民館の公民館報（公民館だより）の質の向上をめざし、平成18年度から開催されています。

今回は全国から総数154作品の応募があり、社公民館は初めての応募ながら、最優秀賞に選ばれました。最優秀賞は全作品の中から1点のみ選出されるもので最高の賞となります。

鳥取県では、初の受賞となります。



くらしに役立つ
記事が多いなあ

最優秀賞



受賞おめでとうございます！

受賞のポイントをいくつか紹介します

『月刊公民館 3月号』に
コンクールについての特集
が組まれています。

① 表紙の写真にインパクトがあり、目を惹く

地区民の笑顔や驚き、感動が伝わるような「絵になる」写真が撮れるよう神経を使っている。

② 印象的な写真が多くあり、レイアウトがよい

カラー写真が目立つよう色数を抑えたり、新聞のレイアウトを参考にしたりしている。

③ 住民が編集に加わって制作している

公民館職員の外、地域住民2名が制作に加わり、地域情報をサーチしている。

④ 地域取材記事に工夫がみられる

住民への突撃取材や住民によるペンリレー、俳句や川柳の掲載など住民の参加がある。

～やしろ公民館報担当者の声～

今回、予想もしていなかった賞をいただき、日頃から広報活動にご支援いただいている社公民館管理委員会、社地区振興協議会等に感謝するとともに、恥ずかしくない広報誌となるよう、公民館報のスタンダードをめざし、引き続き努力していきたいと思っております。
『月刊公民館 3月号』より

【あとがき】

社公民館の館報受賞はうれしいニュースでした。『公民館報のスタンダードをめざす』『やしろ』制作担当者の思いです。私自身、本通信を制作するにあたり、地域のニーズ、内容、レイアウトなどにいつも頭を悩ませます。今後は全国の公民館が館報「やしろ」をお手本としながら館報の制作にあたられることでしょう。もちろん私も大いに参考にさせていただきます。

中部教育局 社会教育担当 西村 信彦
電話 0858-23-3253
ファクシミリ 0858-23-5203
電子メール nishimuran@pref.tottori.jp



ちゅうぶくん一家

4月からも
お願いしま
すね！